



日本大学文理学部国文学科
日本語基礎演習 2

はじめに

月9のヒロインからみる 方言ステレオタイプ

吹き替え作品での 関西弁の扱い方

漫画と実写化映画の方言

方言ステレオタイプの 反映の程度

漫画における 方言の扱われ方

少女漫画における 大阪方言

漫画における 広島弁キャラの ステレオタイプとの比較

おわりに

漫画と実写化映画の方言



0313040 宮崎結乃

0313072 添田菜帆

0313084 洞澤加奈

4.1.目的

漫画とその実写化映画では方言の使われ方がどのように異なるか、また方言がキャラクターにどのような影響を与えているかを調査する。

4.2.調査概要

4.2.1.調査対象の抽出方法

Wikipediaよりここ10年間で漫画が実写化した作品を調べ、そこから舞台が地方の作品を選んだ。その結果、4作品に絞られたが舞台が被ってしまった作品があったため、今回は『ラブ★コン』『天然コケッコー』『ほしのふるまち』の3作品を調査対象とすることにした。

4.2.2.調査対象作品

作品	舞台	作者	監督
ラブ★コン	大阪	中原アヤ	石川北二
天然コケッコー	島根	くらもちふさこ	山下敦弘
ほしのふるまち	富山	原秀則	川野浩司

表1 各府県の調査対象作品

4.2.3.分析の方法

1. 実写映画の1時間分と漫画に共通するシーンを抜き出し、セリフ（吹き出し）を文字化して集計。
2. 漫画と映画で方言の使い方を比較。
3. 参考文献を読み、方言ステレオタイプと照らし合わせる。
『日本のことばシリーズ』明治書院
『富山県のことば』（1998）平山輝男〔ほか〕編、真田信治〔ほか〕執筆
『大阪府のことば』（1997）平山輝男〔ほか〕編、郡史郎〔ほか〕著
『島根県のことば』（2008）平山輝男〔ほか〕編、友定賢治〔ほか〕執筆
岩波書店『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』（2000）金水敏 著
岩波書店『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで』（2011）田中ゆかり 著
4. 方言がキャラクターにどのような影響を与えているか分析。
5. キャラクターの性格や外見などの特徴が映画のキャスティングに影響しているか。

→ 4.3 個別分析1（洞澤加奈）

→ 4.4 個別分析2（宮崎結乃）

→ 4.5 個別分析3（添田菜帆）

4.6 まとめ

3作品の漫画と実写化映画を比較して、方言の使用がキャスティングに影響していることがわかった。ただし、容姿はキャスティングに影響するが、俳優の出身地やイメージはあまり影響しないといえる。

また、3作品ともその土地の特徴的な方言が使用されていた。これによって方言使用キャラクターに方言イメージを強く与えているのではないかと考えられる。さらに、文末に方言が強く表れる傾向にあることもわかった。

4.7 参考文献

尾上圭介（1999）『大阪ことば学』創元社

金水敏（2000）『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店

田中ゆかり（2011）『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで—』岩波書店

平山輝男（1997）『大阪府のことば』明治書院

平山輝男（2008）『島根県のことば』明治書院

真田真治（1998）『富山県のことば』明治書院